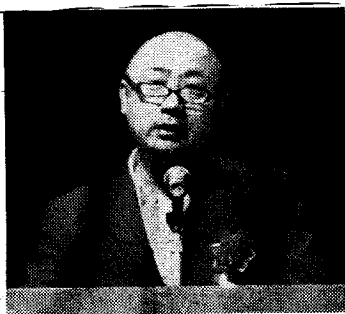


重複障がい支援模索

沖縄ダルク
フォーラム 三重・市川代表が講演



薬物やアルコール依存症
のリハビリセンター沖縄ダ

ルク(宜野湾市)が17周年を
迎え29日、那覇市の県男女
共同参画センターにいるる
でフォーラムが行われた。
午前中は「ダルクで見る
重複障害について」アスペ
ルガー症候群の事例から
「をテーマに、三重ダルク
の市川岳仁代表」写真」が
講演した。

10年ほど前までは、ダル

クの課題は「薬物をやめら
れるか否か」だったのに対
し、最近の傾向として市川
さんは「薬物をやめられた
としても、次のステップに
進めず、ダルクでの生活が
長期化している」と指摘。そ
の一因に、薬物をやめただ
けでは薬になれない生きづ
らさがあるのではないかと
思い調べたところ「発達障
がい」に行き着いたという。

特にアスペルガー症候群
について言及し「もしこう
した特徴があるならば、従
来の回復プログラムだけで
なく、対応法の一つとして
アスペルガー症候群の人た
ちが、取り入れている手法
を学ぶのも有効ではない
か」と提案した。

三重ダルクでは、重複障
がいの回復プログラムとし
て、農業や養殖業を取り入
れた、新たな支援策を模索
しているという。

同日午後から、あらかき
クリニックの西村直之院長
やダルク創設者の近藤恒夫
さん、茨城ダルクの岩井喜
代仁代表による特別対談な
ども行われた。